

# 平成30年度決算状況

町の家計簿ともいえる平成30年度の決算状況がまとまりました。

一般会計の決算総額は、歳入37億2,670万1,489円、歳出36億6,904万7,761円で5,765万3,728円の黒字決算となりました。とはいえやはり本町は自主財源に乏しく、その大半を地方交付税（国からの交付金）や町債（国や金融機関からの借金）に頼る、依存型財政が続いています。町ではより一層の歳出削減と財源の確保に最大の努力を図り効率的な財政運営を進めていきますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

町の決算状況を、わかりやすく皆様の家計に例えてみると、次のようになります。  
（平成30年度の一般会計決算を、同年度末の人口で割ったもの）（ ）内は実数

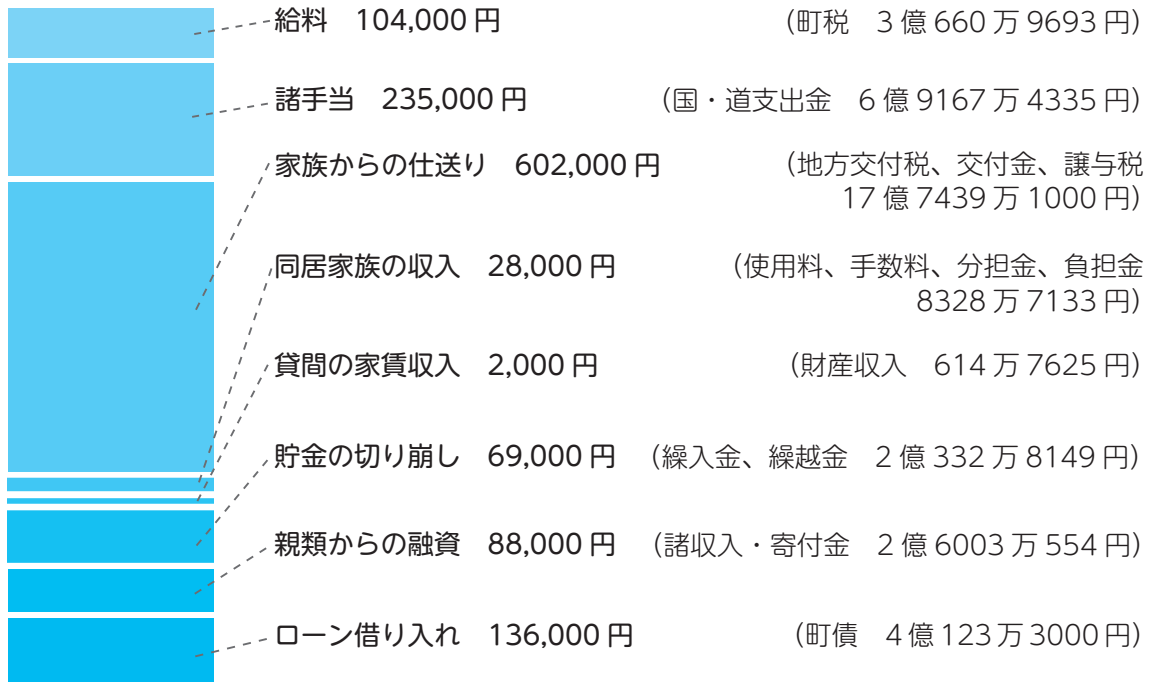
## 歳入

町民1人分の収入を家計に例えると

1,264千円

町財政では

37億3千万円



## 歳出

町民1人分の支出を家計に例えると

1,244千円

町財政では

36億7千万円



## 町民一人当たりの支出をまちの仕事の内容に振り分けると

右表にある町民一人あたりの歳出額 1,244,000 円について、まちが行う様々な事業にどのように使われているのかをわかりやすく示してみました。

道路・橋・河川などの  
整備のために

211,000 円



議会や役場の  
運営のために

358,000 円



住民の福祉向上の  
ために

112,000 円



学校・社会教育の  
充実のために

47,000 円



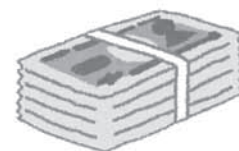
上下水道・国保  
などの特別会計に

100,000 円



町債の返済の  
ために

161,000 円



住民の健康増進と  
環境整備のために

53,000 円



消防施設の整備の  
ために

36,000 円



農業の振興の  
ために

150,000 円



商工業の振興の  
ために

16,000 円

